

今月号の主な内容

第45回 伊是名村戦没者慰霊祭
 新区長紹介！
 組織の力で中小企業を活性化！
 歯と口の健康週間



広報
IZENA

いぜんま



伊是名島イースキヤラター
尚丹王



歴史の島 自然の宝庫 ハブのいない伊是名島

伊是名 仲田 諸見内花 勢理客

男	162	200	259	100	101	計	822人	△4
女	159	214	186	85	94		738人	1
計	321	414	445	185	195		1,560人	△3
世帯数	166	224	235	84	83		792	△5

村の人口【計 1,560人】平成26年5月31日現在

平成26年
No.521

村のホームページ
<http://vill.izena.okinawa.jp>



第45回伊是名村戦没者慰霊祭

沖繩戦終戦日の6月23日、伊是名村慰霊塔において第45回戦没者慰霊祭が行われた。

終戦から69年が経った今年も、先の大戦で戦没された御霊のご冥福と世界の恒久平和を祈念するため、御遺族はじめ多くの方が参列された。

式典は参列者全員による黙とうに始まり、前田政義村長による式辞、前川清村議会議長の追悼のことばが述べられた。親族、小中学校代表による献花の後には、「平和の詩」を小学校教育代表の東江こころさん、中学校生徒代表の諸見伊音くんと島架凜さんが朗読した。最後に一般焼香が行われ、参列者は静かに両手を合わせた。

正午には村全体で黙とうをささげるため、防災行政無線サイレンとフェリー二ニューいぜん汽笛が村内一斉に流された。



「平和の詩」を朗読する東江こころさん

式辞

平成二十六年、第四十五回伊是名村戦没者慰霊祭が挙行されるに当たり、戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の意を表します。

先の大戦においては、国難に殉ぜられた若い生命を思いますとき、痛恨極まりなく御遺族のご心情を思うと、お慰め申す言葉もございません。

我が沖繩県は、去る大戦において国内で唯一、一般住民をも巻き込んだ悲惨な地上戦となり、二十万人余りの尊い生命とかけがえのない財産が失われました。

本村においても軍人、軍属、一般人四百三十三名の尊い命が失われ、ここ慰霊塔に刻銘されており、私たちはこの悲惨な体験から戦争の愚かさ、平和の大切さという教訓を学び、戦後、焼け野原から立ち上がり、懸命に復興に取り組んできました。

このような歴史的事実を厳粛に受け止め、再び戦争の惨禍が起きることのない社会の構築に努めることが現代を生きる私達の責務だと考えます。

近年、尖閣諸島問題や東南アジア諸国に於いて緊張が起ころうとありますが私達県民は、諸霊の崇高な教えとお導きによって、再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を堅持し、世界の恒久平和の確立をめざし、不断の努力を傾注する所存でありますので、どうか安らかにお眠りください。

終わりに、戦後六十九年の年月を経て、今なお変わることもない戦没者御遺族各位の深い悲しみに対し、心からご同情申し上げますと共に各位のご多幸を心からお祈り申し上げ、私の式辞といたします。

平成二十六年六月二十三日

伊是名村長 前田 政義

「明日への希望」

創作：伊是名中第六十七期生

白い雲、きれいな空、きれいな海
きれいなものや温かい人たちに
囲まれたこの島、沖繩、そして伊是名
誰もが自慢に思い、たくさんの伝統が残る
この島、沖繩、そして伊是名
六十九年前、唯一の地上戦がおこなわれた

六十九年前、沖繩は地獄だった
白い雲は、黒い雲へ
きれいな空は、灰色の空へ
きれいな海は、赤い色へ
戦争が沖繩の色を変えた

黒い雲から砲弾の雨が降り
地上では刀を振り回し
たくさんの方が亡くなった
自分の大切な人も失った
人を傷つけ、自分を傷つけ
人々は絶望した
明るい未来を夢見る人
今から未来を背負う人
みんなが戦争に巻き込まれた

人と人が傷つけあった悲しみ
人が人でなくなった悲しみ
大切な人を失った悲しみ
この戦争はたくさんの悲しみを生んだ

この沖繩で戦争があった
私たちは戦争を知らない
おじやおばあから聞いた
学校で教えてもらった
戦争体験者の本当の悲しみを...

戦争は何から生まれるのだろう
戦争で何も解決はしない
しかし、今でも
どこかで戦争が起きている

戦争を生き延びた人たちがいるから
今の私たちがいる
戦争は止められる
戦争をなくすことができる
私たち人間の手で

人と人が手をつなぎ
すべての人が心から笑いあえる
そんな世界をつくりたい
過去の悲しみを希望へ

戦争はもう起こさせない
戦争を忘れない
そんな未来をつくる
今、私たちの手で



参列者全員で黙とうがささげられた

平成26年度(第62回)通常総会 伊是名漁業協同組合

6月27日(金)勢理客公民館において伊是名漁業協同組合の通常総会が開催された。

今回は役員改正が行われ、7名の理事はすべて新任となり、組合長には仲田吉光さん(字諸見)が初就任した。

新体制での総会とあつて組合員の関心は高く、組合員の殆どが出席するなかで議事は進められ、活発な意見交換があり組合としての今後の方針が確認された。

仲田組合長は「漁協運営を取り巻く諸情勢は大変厳しさを増してきているが、漁協事業の発展と健全な事業運営、漁業所得向上に専心努力していきたい。」と抱負を述べた。水産業を取り巻く環境が厳しいなか担い手の育成などの施策を進め、生産者と協力し合つて水産振興に取り組む決意を表した。



漁協組合長に就任した仲田吉光さん

サイバー教室

子どもの携帯電話使用に注意!!



本部署は、近年増加しているサイバー攻撃から子どもたちを守るためにはどうすればよいのか、対策や注意を啓発するため6月19日(木)中学生を対象にサイバー教室を行った。

特に、携帯電話を使用した犯罪は後を絶たない。中学生以下の携帯電話普及率も増加している現在において、子どもが犯罪に巻き込まれることを未然に防ぐには、どのような事例があるのかをもとに、どのような対応が必要なのかの説明された。勧誘や、架空請求など犯罪ケースは幅広い。

使う子どもだけではなく、与える保護者も適正に使用しているのか確認をすることが重要になっています。

おばあに学ぶ「健康長寿」講演

沖繩の長寿を支えてきた長寿者の暮らし方・智慧(ちえ)を学ぶことで、村民が健康でいきいきと楽しく暮らすこと、長寿の村を目指すことを目的に6月4日(水)産業支援センターにおいて、医学博士・平良一彦さん(琉球大学名誉教授・名桜大学非常勤講師)による健康講演会が開催された。

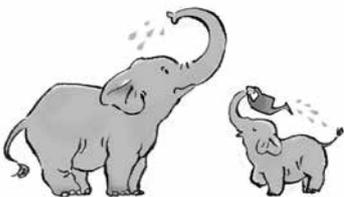
「なぜ沖繩は長寿だったのか?」長年にわたる長寿研究から見えてきた長寿の智慧をわかりやすく説明した。健康で長生きする力ぎは「生活習慣と食事、そして運動」と話し、本村の特定健診で6割が肥満となっている事へ警鐘をならしているのかもしれない。



一足早い梅雨明け宣言!?



6月中旬、仲田区集落内のある場所、気持ちよさそうに水遊びをしている子どもたちを見かけました。この日はまだ梅雨明けしていませんでしたが、日差しが出て水遊びには絶好の天気。子どもたちは気持ちよさそうに水を掛け合つて楽しんでいました。



海岸漂着ごみ回収

～沖縄ザーレン倶楽部～

排ガス対策や省燃費性能に優れた高性能エンジンに適した低粘度のオイル、ザーレンオイルを開発・販売し、環境問題（燃費改善によるCO₂排出削減等）に取り組む活動をしているザーレン(zahren)倶楽部が本村を訪れた際、ボランティアで海岸清掃を6月21日(土)に行った。

今回のボランティアではゴ八原(ごみ焼却場付近)海岸の漂着物の回収作業を行った。参加したのはザーレン倶楽部の14名。海岸を見て漂着物の多さに「小さい島なのに漂着物が多いなあ」と、驚きつつも作業を開始。短時間でどんどんごみが集められた。回収後、「こんなにいろんな物が漂着するなんて、島の人は大変ですね。今回ボランティアできてよかったです。」と話した。これからも環境に優しいオイルの研究と、県内各地域のボランティア活動に取り組むとのこと。



さあ～回収しましょう

ザーレン倶楽部の皆さん



ゴール直後に
ガッツポーズ

国頭地区総合体育大会(中学校)

6月7日(土)、8日(日)の二日間、名護市を主会場に中学校の総合体育大会が開催され、伊是名中学校の生徒達も男子サッカー、男女ソフトテニス、女子バレーの4種目に参加し、熱戦を繰り広げた。



7.ロックの上からスパイクが炸裂



厳しいボールにも食らいつく!

ペア同士健闘をたたえ合う

新区長紹介!!

区長の任期満了(5月31日まで)にともない、各字において区長改選が行われた。5集落全てにおいて立候補が1人しかおらず、無投票での選出となった。内花区は新人の末吉盛信氏が区長となり、他4集落は再選となった。任期は平成26年6月1日から平成28年5月31日迄です。



左から 山内 靖昭 伊是名区長(3期) 仲田 正務 諸見区長(2期) 儀間 善光 勢理客区長(4期) 伊禮 正隆 仲田区長(5期) 末吉 盛信 内花区長(初)

区民の日 各字で世代間交流!!



6月中旬、各集落では区民の日と称して、様々な企画が公民館や公園、グラウンドなどで催された。

字諸見区ではミニ運動会が開催され、子どもからご年配の方々まで多くの方が参加し、初夏の陽気のもとでさわやかな汗を流し交流を深めていた。また、仲田区や勢理客区では区民全世帯を対象にしたお楽しみ抽選会もあり、これまでとはひと味変わった区民の日となったようです。



子どもの頃に戻ったように大玉を転がした



老若男女混合となりプレーを楽しんだ

通報を受け
警察官が到着

不審者には注意!!



6月3日(火)小学校では不審者訓練が行われた。学校内に、二人組の見知らぬ男が凶器を持って現れる設定で始まった。先生方が犯人の気をひいている際に、児童を安全な場所まで避難させる。その後、男の先生方が二人組を囲む間に、通報を受けた警察が駆けつけて犯人を取り押さえた。この訓練において児童、教員、警察の連携が確認された。



男性教員が協力し不審者を囲む

近年は全国的に子どもを対象にした事件も多く、不審者への対応も課題となっているだけに、家庭や学校、地域間の連携も求められている。



ランドセルを捕まったら・・・

時代人情歌劇「渡地物語」 ～沖縄俳優協会 伊是名公演～

一般社団法人沖縄俳優協会が主催する地方公演が6月からスタートした。第一弾は6月20日(金)伊是名村産業支援センターで開催(後援:伊是名村、沖縄タイムス、他)され、島巡り伊是名公演と題して、時代人情歌劇「渡地物語(わたんじものがたり)」が演じられた。

台詞はすべて方言で演じられたが、舞台脇のスクリーンに翻訳文字が台詞に合わせて映し出され、方言が分からない方でも楽しんでもらえるように設定されていた。所々に気持ちを歌にした演出やアドリブなども入り、迫真の演技に観客からは笑いと拍手がおこった。

公演終了後、観客からは「今回の公演はとても楽しかった。思いっきり笑って気持ちよかったです。」と絶賛する言葉が聞かれた。

協会は今回の伊是名公演を皮切りに、7月以降も本部町や金武町などで公演を予定しているようです。



お知らせ

組織の力で中小企業を活性化！～中小企業組合制度について～

沖縄県は99%以上が中小企業で占められています。特に本県の場合、零細企業が多く厳しい経営状況にある中小企業が多いのが実情です。一人一人の力は弱くても、他社と連携し組合を設立することで協同の力を持つことが出来れば、この厳しい状況を乗り越え、競争に打ち勝つことも可能です。また近年は、学生や主婦等の個人が、創業や雇用機会の確保を目的として設立する企業組合制度も注目されています。あなたも中小企業組合を設立してみませんか？

【主な組合設立のメリット】

- ①取引条件の改善、販売促進、資金調達の円滑化、情報・技術・人材・マーケティング等の充実、生産性の向上等により経営の近代化・合理化を図ることが出来ます。
- ②沖縄県では中小企業組合のための県単融資制度(組織強化育成資金)を設けており、低利で融資を受けることが出来ます。
- ③中小企業者の個々の意見や要望事項を組合でまとめることにより、国等の施策に反映させることが出来るとともに、組合を通じてより多くの中小企業施策を利用することが可能になります。

組合を設立したいと考えている方は、お気軽にご相談下さい。

沖縄県中小企業団体中央会

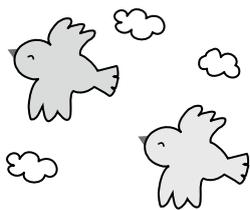
那覇市字上之屋303番地8

TEL098-860-2525 FAX098-863-2526

<http://www.ocnet.or.jp>



弁護士による法律相談



誰にでも何処にいても、人生において道を拓きたい時やつまずいたとき、トラブルなどで悩むことはしばしば。離島の伊是名村でも悩みを抱えている方がいるのではないかと。そのような方の声に応えるために、6月7日(土)琉球大学大学院法務研究科(法科大学院)のグループ9名が本村を訪れ、無料法律相談を行った。

この日は2時間という限られた時間の相談所開設となったが、4件の相談があったという。相談にあたった教授や弁護士は、一般の方でもわかりやすいようにひとつひとつ時間をかけて説明

をされたようです。

今回の無料相談を行ったことをふまえ、“法律を少しでも理解すると今後の対応や世界観が変わることもある”ということをもっとPRしていくことを認識した。教授のひとりには「また機会があれば、ぜひ伊是名で法律相談を行いたい。できれば、一年に1回は行えるようにしていきたい。」と継続的な相談所開設に前向きだった。



相談に答える法務研究科のグループ

お知らせ

第26回「ツール・ド・おきなわ2014」～熱帯の花となれ 風となれ～ 募集開始

今年のツール・ド・おきなわ大会は、11月8・9日に開催!! やんばる(沖縄県北部)で開催される大会は、国際公認レースのチャンピオンレースを始め、市民レース部門、サイクリング部門、関連イベントなど自転車の祭典として盛上がりを見せる。

募集期間: 8月1日(金)～9月30日(火)

日 程: 11月8日(土)～9日(日)

会 場: 名護市21世紀の森屋内運動場

大会参加お問い合わせ TEL 0980-43-7455

URL www.tour-de-okinawa.jp



第26回ツール・ド・おきなわ2014
TOUR DE OKINAWA
 2014 11/8(土)・9(日)
 ～参加申込受付開始～
 エントリー期間 **2014 8/1(金) ▶ 9/30(火)**
 参加方法などの詳細・昨年度の大会結果はWEBページから
www.tour-de-okinawa.jp
 お問い合わせ TEL.0980-43-7455 (平日9:00～17:00)

歯と口の健康週間

平成26年6月4日～6月10日までは、歯と口の健康週間でした。村保健センターでは、「週間」の普及・啓発の取り組みとして、今年も小学校4年生・5年生の協力により伊是名村歯科診療所のスロープ壁部に壁画を作成しました。とてもすばらしい壁画ができましたので、村民のみなさん! 歯や口腔の相談がありましたら気軽に歯科診療所へお越し下さい。



ご結婚おめでとう

なか しょうた やら
名嘉 正太・屋良 ひろな
 平成26年6月16日入籍

島の暦 7月～8月上旬の行事予定

- 7/18(金)・小中学校1学期終業式
- 19(土)・仲田区ウンナー
- 20(日)・沖縄スーパードリフト伊是名島大会
- 21(月)・諸見区ウンナー
・海の日
- 26(土)・伊是名区ウンナー
- 8/2(土)・旧七夕
- 8(金)・旧盆(ウンケー)
- 10(日)・旧盆(ウークイ)

「青い羽根募金」について

毎年、「海の日」を中心に7月1日から8月31日までの2ヶ月間を青い羽根募金強調月間として運動を展開しています。

この募金は、沿岸海域において、船舶海難、磯釣り・海水浴等での海浜事故が発生した際の人命救助、及びその訓練、機材の購入等に活用されています。村民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

募金の振込先

金融機関:郵便局
 □座番号:01780-5-46048
 □座名義:公益社団法人琉球水難救済会

募金先・お問い合わせ

公益社団法人琉球水難救済会
 那覇市泊3-1-6 泊港北岸3F
☎098-868-5940

